

～着なくなった着物をリメイクして別のものに～ 福井市



作品を手にする塚本佐智恵さん。着ているのも着物リメイク服



リメイクした靴など



「森のカフェ 月とぶえお」の田口いずみさん。制服は着物リメイク服

福井市に住む塚本佐智恵(つかもと さちえ)さんは、3年前に家庭用ミシンを入手したことがきっかけで裁縫に興味を持った。偶然着物リメイクの本を見つけ、その手軽さや魅力に引き込まれてこれまでに250点手掛けてきた。使うのは着物一般や留袖、浴衣など多岐にわたり、生地はいただきものや着物販売店でリメイク専用で売られているものなどを使用している。塚本さんは着物が好きで、見るとデザインや作ってみたいものの発想が次々と湧いてくるそう。作る時は着物の形を活かすことを大切にしている。作ったものが出来上がってくると、着ている人の年齢や着ていく場所を想像する。

着物に向き合うときは、日常生活におけるちょっと特別な時間。気持ちや落ち着いて、さわっていると穏やかな気持ちで過ごせる。作業は、元の着物をほどこところから始まる。生地を洗ってアイロンをかけ、型を取って縫い始める。家事などの隙間時間を見つけては少しずつ作業を進めていく。「ミシンで縫っていると、どうしても生地が張ったりすれたりする。それが柄合わせのときにピタッと合うと"よっしゃー!"とうれしくなるんです。考えてセットしたりリメイクならではの達成感がありますね」と塚本さんは語る。作るのは羽織、セットアップ、ワンピースなどの服やエプロン、

コースター、靴といった実用品など。帯も作っており、お太鼓結びをしたときに前と後ろに柄がくるように工夫する。作品は坂井市丸岡町にある「森のカフェ 月とぶえお」で数着販売している。「着なくなった着物もリメイクすれば別のものへ形を変えて生きかえります。どんなに古く派手な柄でも活用できるので捨てたりせず、再生することを考えてみてください」。着物は日本の伝統の1つ。着物作家や和裁士が着物に込めた大切な思いを引き継ぐのが、塚本さんの願いだ。

話したり歌ったり。つながりが生む安心感を ハッピーハウス あわら市

えちぜん鉄道あわら湯のまち駅のほど近く、温泉街の一角にある「ハッピーハウス」が本格的なカラオケ設備を導入し、より楽しめる場所として

2月27日にリニューアルオープンした。ハッピーハウスは「誰でも集えるおしゃべりサロン」として2022年にオープン。利用していた仲間たちから「カラオケしたい!」という声が上がったのをきっかけにカラオケボックス並みの機材を導入した。近所迷惑にならないよう防音対策も万全。毎週金・土・

日曜日の午前10時から午後4時までオープンしている。元理容店を改装した室内には16人ほど入れるそうだ。運営する大田明美さん(87)は、「冬はみんな家にこもりがちで、誰とも言葉を交わさず一日が過ぎ、寂しさを孤独を感じている高齢者が多いのではないかと心配していた」と話し「顔見知りの人も初めての人も、顔を合わせて言葉を交わし、歌いたい人は歌って、聞きたい人は聞いて"楽しい時間を過ごす広場"にしたい。春になって暖かくな

たら、散歩の途中に気軽に立ち寄りしてほしい」と利用を呼び掛けている。利用は高齢者から学生、孫世代まで全世代OK。年齢・性別の垣根がないので幅広い視点での会話も楽しめる。飲み物やおやつ、お弁当など持ち込みも自由。入場料は要らないが、経費としてカラオケは1曲100円、大田さんブレンドのコーヒーは1杯200円を申し受けている。



カラオケを楽しめる一角



ハッピーハウスを運営している大田明美さん(左)と友人の石川美千代さん

横メロに合わせてダンスが楽しめるDVDも準備してある

ハッピーハウス
●あわら市温泉1-603 (北陸銀行原支店前)
●090-9766-2649



今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法
①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号 ③現在購読の新聞名 ④さんぽみちへのご意見・ご感想 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「私の大好きな桜の○○○」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち3月号プレゼント」係

メール LINE ホームページ
osano@fukuikoho ID: @059fzwww 投稿フォームから c.co.jp

※応募の際は「さんぽみちプレゼント係」と入力して下さい

締め切りは3月15日(日)必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

今月の読者コーナー「春といえは○○○」にたくさんのお便りをお寄せいただきありがとうございます。1位は圧倒的に「桜」。ほかにも「山菜」「フキノトウ」「花粉症」といった声が届きました。筆者にとっても春も「フキノトウ」です。毎年、畑の片隅にひよこ顔を出してくれますが、暖かい日が続くとうきょう花が咲いてしまい、収穫のタイミングを逃しがちです。今年こそはまめに見回りをして、おいしいフキノトウを収穫し、天ぷらと日本酒で「私の春」を味わいたいと思います。

読者からのお便りコーナー

お題「春といえは○○○」

卒業。小学校でバレーボールを教えています。毎年卒業して行く子どもたちにそれぞれのネーム入りのボールペンをプレゼントしています。いつまでも楽しい思い出や仲の良い友達と共に私のことをずっと覚えていて欲しいなと思います。(あわら市 70代 男性)

両親の誕生日! 去年は私が社会人1年目でバタバタしていて何もできなかったので、今年こそは何か感謝の気持ちと一緒にお祝いをしてあげたいと思っています。お誕生日おめでとう!(鯖江市 20代 女性)

新スタート! 各教育機関への入学や進級、1人暮らし、転職などいっぱいありますね。(勝山市 50代 女性)

別れ。今から40数年前、高校を卒業して、それぞれの道へ進むことになった2人は、距離に引き裂かれるような涙の恋愛を始めました。妻との忘れられない春の思い出です。(越前市 60代 男性)

暖かくなる。外に出かけたい虫がうずうず。ぽーっと春色の海を眺めていたり、普段通らない道をウキウキ散歩したり。今年はサイクリングで少し遠い所へも出かけてみようと思っています。(小浜市 60代 女性)

フキノトウ。待ちわびたフキノトウを見つけると「春だあ!!」と幸せな気持ちになります。てんぷらが大好きで、たくさんのエネルギーをもらいます。(大野市 70代 女性)

桜。足羽川堤防沿いの桜、足羽神社のしだれ桜を、毎年楽しみにしています。受験生の皆さんにも、満開の桜が咲きますように!(坂井市 50代 女性)

バス旅行。毎年桜を見に名所へ行く男女15人70~80歳の仲良しグループ。「あまり歩かなくていい」「トイレに1時間ごとに寄る」の条件が年齢にぴったりな旅行。帰り道の桜並木は疲れて誰も下りない!! これ本当に桜見物の旅行!? (若狭町 70代 女性)

ツクシ。近所にたくさん生えるのでつくだ煮や煮物を作って食べています。意外にとってもおいしく、お酒のあてにもなります。採れなくなると心がさみしくなるほどツクシが好きなんです。(福井市 20代 男性)

投稿募集
投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。今回のテーマは「私の大好きな桜の○○○」です。風景や桜をイメージした食べ物、香りなどお気に入りのものを教えてください。
※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。



さんぽみち こみち散歩道 敦賀に残る鉄道遺産

こみちが気になる場所を訪れる「こみち散歩道」。今回は敦賀市金ヶ崎町にある「旧敦賀港駅ランプ小屋」を訪れました。桜の名所としても有名な金崎宮や赤レンガ倉庫など敦賀の名所が集まる金ヶ崎公園の駐車場すぐそばにあるこの建物は、1882(明治15)年に建設されたレンガ造りの平屋建築です。積み上げられたレンガや開口部のアーチなどが、独特の趣を醸し出しています。現存する国内最古の鉄道関連施設のひとつでもあります。建物内は当時の様子が復元されており、棚には蒸気機関車で使われていたランプが展示されています。工用形の1290形と、そのころの最新鋭だった1800形のもので、赤と緑がセット。色の組み合わせで、駅員や踏切員などに貨物列車なのか臨時列車なのか等の情報を知らせています。ランプ小屋に関するパネル展示もあり、当時の歴史を知ることができる貴重な場所です。



蒸気機関車で使われていたランプ



旧敦賀港駅ランプ小屋



旧敦賀港駅ランプ小屋

敦賀市金ヶ崎町1-19
観覧時間 午前9時~午後5時
休館日 水曜日と年末年始(荒天時公開中止の場合あり)

自然豊かな大野で... 道の駅越前おおの荒島の郷

待ちに待った春が到来。ドライブに出かける人も増えるこの季節、観光情報や地域のパンフレットがそろい、ちょっとした旅行気分を味わえと評判の「道の駅」に足を運んでみてはいかが。中部縦貫道・荒島インターチェンジを降りてすぐの道の駅「越前おおの荒島の郷」。館内には観光案内所のほか、売店「荒島マルシェ」や大野の味を楽しめるフードコートがあり、県内外から多くの人を訪れている。



写真は去年のもの、人気の山菜は天ぷらで味わうのが定番の楽しみ方

フードコート
「バームクーヘン工房森のこしかけ」では、春限定の「プレミアムいちごバーム」が人気だ。小麦粉を一切使わず、大野産コシヒカリの生米粉100%で焼き上げた、しっとりふわふわの生地には、南越前町の農園「ひのの実」産のいちごをぜいたくに使用した一品だ。



特産の九頭竜まいたけのてんぷらや大野名水を使った手打ちそばは、幅広い世代に愛されている



春限定の「プレミアムいちごバーム」



幼児向けのボルダリング

荒島マルシェ
春の農産物が並び始める季節。大野市内を中心とした農家や、お菓子、パンなどの加工品製造業者で構成される「大野市道の駅産直の会」の会員が、毎日新鮮な品を届けている。雪解けとともに、フキノトウやタラノメ、コシアブラ、コゴミなど多彩な山菜が登場。雪の下で甘みを蓄えたキャベツやニンジンなどの春野菜も並び、食卓に春の味わいを運んでくれる。

4/22(水)は荒島の郷の開駅5周年を迎える。これを記念して、4/18(土)19(日)は「開駅5周年感謝祭」を予定している。大人から子どもまで楽しめる催しを計画中!

おたが塾
参加者募集中
3月2日受付開始
小花とりポンで作るコサージュ教室
日時 3月14日(土) 午前の部 午前11時~正午 午後の部 午後1時~2時
場所 ハピリン2階の福福小屋
参加費 3,000円
対象 大人から子どもまでどなたでも(小学4年生以下は保護者同伴)
定員 各部15人(先着順)
講師 下中優子さん(布花デザイナー) 橋爪裕子さん
主催: 日刊県民福井・中日新聞社
共催: 福井市観光物産館福福館
問い合わせ・申し込み先
日刊県民福井事業グループ
☎0776-28-8618
(平日 午前10時~午後6時)
こちらのQRコードからもご予約いただけます

かわら版さんぽみち
LINE 公式アカウント
友だち募集中!
さんぽみち掲載店や公式ライン限定プレゼントの情報が届く!
プレゼントの応募や読者コーナーへの投稿がスマホでカンタンに!

個人情報保護法

さんぽみちではお客様に安心してご利用いただけるよう、個人情報を適切に管理し、プレゼントの企画に活用させていただきます。